

松徳 憲二 議員

(一問一答方式)

- ①市民文化会館建設
- ②通学路の安全確保
- ③肱川及び矢落川の堤防



市民文化会館建設について

問 事業費の財源確保として、市民からの寄附を募ることで愛着を感じてもらい、事業の後押しをしてもらう考えはないか。

答 市民文化会館建設事業について、有利な補助金や交付金の活用はもとより基金の計画的な積立などにより、財源確保に努めていくことが必要です。

現在、公共施設等の整備資金に充てるため設置をしている公共施設等整備基金の中に市民文化会館整備枠を設けて、計画的に積立を実施していく考えです。寄附のご提案は本市にとっても大変ありがたいことです。大洲市の新しいシンボルとなり市民に愛され、ご利用いただく多くの皆様に思い出と感動をお届けできる施設建設に向けて、市民からの応援という形で寄附を受入れする仕組みを整えていくとともに、市外にお住まいの大洲出身者や大洲にゆかりのある皆様にもご協力をお願いできるよう、ふるさと納税の用途を示した項目に、「市民文化会館の整備」の追加を検討しています。

通学路の安全確保について

問 県の通学路安全対策推進モデル地域研究事業の指定を受け合同点検を実施されたが、その点検の取組状況と対策はどのようなものか。

答 令和3年度の具体的な実施内容としては、大洲市通学路安全推進連絡協議会から各学校に通学路点検及び危険箇所調査を依頼し、昨年4月から6月にかけて校区内の危険箇所を洗い出し、協議会に報告しています。それを受けて、8月に協議会の構成団体でもある南予地方局大洲土木事務所、市関係部局、大洲警察署、交通安全協会、自治会関係者、学校関係者及び教育委員会事務局による合同点検を行い、その結果は9月開催の大洲市通学路安全推進連絡協議会で協議・検討されたうえで、各道路管理者

が通学路の改善に取り組んでいます。

主な改善内容としては、柚木の国道にグリーンベルトの設置、菅田の採石場入り口に注意喚起表示とグリーンベルトの設置、徳森の見通しの悪い交差点に注意喚起標識の設置、東大洲の水路脇のガードパイプの延長などを行っています。



菅田の採石場入り口

肱川及び矢落川の堤防について

問 肱川や矢落川の堤防には漏水箇所があるなど重要水防箇所となっているが、事前の防災対策はどうなっているのか。

答 重要水防箇所の事前防災対策としては、国・県・市・消防など関係機関が合同で現地視察を行い、その現状を確認するとともに定期的に巡回パトロールを実施し状況把握に努めていると伺っています。

また、一覧表と位置図を国土交通省のホームページに掲載し、流域住民に対し周知を図るとともに消防団に対しても注意喚起を行っています。

一方、堤防整備が進めば河川内の水位の上昇によって堤防への負荷が増し、これまで漏水等なかった堤防に影響が出ることが懸念されています。このため既存堤防では、ボーリング調査や電気探査等による詳細点検を行い、対策が必要と判断された箇所は、適宜必要な浸透対策を実施すると伺っています。なお、堤防の点検や浸透対策等による堤防強化の実施は、肱川水系河川整備計画の中でも大きな柱として盛り込まれており、一層の推進が図られるものと期待しています。

市としては、大洲市、西予市、内子町で組織する肱川流域総合整備推進協議会や、四国の一級水系で組織する四国治水期成同盟連合会を通じて災害の再発防止、事前防災対策に対する予算の確保、並びにさらなる推進を図るよう国・県に対し継続して要望していく考えです。